

生涯活躍のまちワークショップの実施について（素案）

1 趣旨

令和3年春から随時開始される生涯活躍のまち拠点エリアでの取組について、アクティブシニアをはじめ、大学生、子育て中の親など、市民の皆さんに意見を伺い、今後の「江別版生涯活躍のまち」での取り組みの参考にするため、ワークショップを行う。

2 ワークショップ概要

(1) 参加者

「オープンワークショップ」として、誰でも参加できる機会にするとともに、大学関係者、子育て世代、アクティブシニアなどの生涯活躍のまちにおいてメインターゲットとなる層には、個別の要請を行い、参加を促す。

(2) ワークショップのやり方

新型コロナウイルス感染防止の観点から、原則、オンラインでの開催とする。また、必要に応じてオフライン会場を設け、中継等で同時開催できるようにし、オンラインでの参加をためらう層にも参加しやすい環境を準備する。但し、オフライン会場は、新型コロナウイルス感染防止策を十分講じるものとする。

3 ワークショップのねらい

(1) 幅広い市民のニーズを把握

多様な属性を持つ市民に参加してもらい、それぞれの視点からの意見及びニーズ等を収集する。

(2) 多様な視点による相乗効果

多様な属性の市民が意見を出し合うことで、参加者同士が異なる視点を得ながら、一人では思い浮かばない意見やアイデアが生まれる。

(3) 能動的かつ主体的な参加促進

生涯活躍のまち形成事業計画を周知し、参加者が同計画に基づく具体的取組を話し合うことで、拠点地域における様々な事業に能動的かつ主体的に関わっていかうという意識を醸成する。

(4) 生涯活躍のまちを応援してもらえる人材の発掘

ワークショップを通して意見交換等を行うことにより、生涯活躍のまちの理解が進み、興味、関心を持ってもらうことで、長期的に拠点地域を中心としたまちづくりに、応援、協力してもらえる人材を発掘する。

4 ワークショップの成果

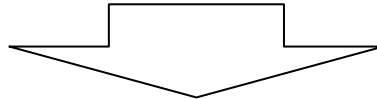
ワークショップで出された具体的取組の実現性等を検討し、令和3年度以降の事業展開の基礎資料とする。

(3) ワークショップ全体構成及び今後のスケジュール案

第1・2回 オープンワークショップ（8月中）

○内容

- ・「江別版生涯活躍のまち」とは？
- ・テーマを掲げ、フリートーク形式を想定
- ※誰でも参加できる形式として、幅広い属性の意見を収集する



オンラインワークショップについては
Web 会議システム「zoom」を活用予定

第3・4・5回 カテゴリー別ワークショップ（8月～9月）

○内容

- ・第1回及び第2回で出された意見の中で、方向性や属性の近い参加者同士で意見を深めていく



アイデアの取りまとめ（10月）

○内容

- ・ワークショップにより参加者が描いた具体的取組について、取りまとめる。
- ・具体的取組について、発表会等の開催を検討する。

【ワークショップテーマ案について】

- ・生涯活躍のまちに期待することについて
- ・多世代交流の場としての活用方法について
- ・対象エリアと地域住民との交流について など

令和2年3月に策定した「江別市生涯活躍のまち形成事業計画」に基づく取組について
意見交換を行う。

※ワークショップのテーマ等については、今後「生涯活躍のまちコーディネーター」の意見等を参考に決定します。

以上